MIWA AUTEP／AUTAEP・AUREP／AURAEP 取扱説明書

（取付説明は別紙を参照ください。）

取説番号 878H020

〈工事店様へのお願い〉
取付・調整の後、本書をお客様にお渡しください。

錠種の動作確認表

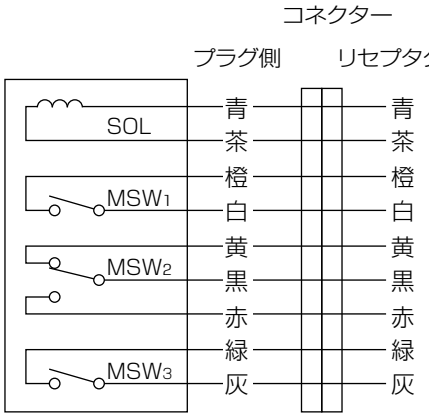
錠種	取付時の状態（非通電時）	通電時（制御盤との組合わせ）	当社BAN－ASとの組合わせた例	
			解錠釦操作時	閉扉時（自動施錠）
1、AUTEP（非常開付通電時解錠型）	・閉扉にて施錠 ・室内側、室外側ハンドル（握り玉）とも固定	・室内側、室外側ハンドル(握り玉)ともフリーで解錠	・解錠表示点灯（点滅） ・室内側、室外側ハンドル(握り玉)ともフリーで解錠 ・扉を開けると開扉信号が点灯	・解錠表示消灯 ・室内側、室外側ハンドル(握り玉)とも固定
2、AUTAEP（非常開付通電時解錠型 指定側常時解錠タイプ）	・閉扉にて施錠 ・室外側ハンドル（握り玉）のみ固定			・解錠表示消灯 ・室内側ハンドル（握り玉）のみ固定
3、AUREP（非常開付通電時施錠型）	・室内側、室外側ハンドル（握り玉）ともフリーで解錠	・閉扉にて施錠 ・室内側、室外側ハンドル(握り玉)とも固定		・解錠表示消灯 ・室内側、室外側ハンドル(握り玉)とも固定
4、AURAEP（非常開付通電時施錠型 指定側常時解錠タイプ）		・閉扉にて施錠 ・室外側ハンドル（握り玉）のみ固定		・解錠表示消灯 ・室外側ハンドル（握り玉）のみ固定

【ご注意】

・非常開機能は、非常開プッシャーによる解錠のみで、施錠復帰／非常開の復帰は、閉扉することにより自動施錠するとともに非常開からの復帰もします。
・AUTEP、AUTAEPの場合：停電及び断線時は電気的には解錠できませんが、キーやサムターンにて解錠可能です。
・AUREP、AURAEPの場合：停電及び断線時は解錠状態となります。キーやサムターンでの施錠は出来ません。
・キーやサムターンで解錠した場合、ハンドル（握り玉）を回すまで解錠状態のままです。
　・ハンドル（握り玉）を回すことで施錠復帰します。
　・キーやサムターン、電気的制御では施錠しません。
・電気的な解錠操作を行っても実際に扉を開けなかった場合は、制御盤の設定時間を過ぎた時点で施錠となります。
・両開き扉の場合は、受座側扉をフランス落しで固定した状態で施錠してください。
　固定せずに施錠し、無理に扉を押し開くと錠が破損します。
・レバーハンドル用ケースと握り玉用ケースを共通にしたため、レバーハンドルの場合も上下どちらの方向にも操作可能です。

【電気仕様及び内部回路】

名　称	定　格			
ソレノイド（解錠動作）	電　圧 DC24V（±20%）	電　流 0.3A（±20%）	通電時間 連続	通電率 1
マイクロスイッチ（扉開閉信号）	電　圧 DC24V	電　流 2mA~100mA	有効チリ寸法 6mm以内	
マイクロスイッチ（施解錠信号）	電　圧 DC24V	電　流 2mA~100mA		
マイクロスイッチ（非常解錠信号）	電　圧 DC24V	電　流 2mA~100mA		
リード線	長さ400mm（9Pコネクター付） AWG－24UL1007耐熱ビニール電線			



（本図は開扉、解錠、非常開未使用を示す）

・ＳＯＬ－ソレノイド（解錠／施錠動作）
・MSW1 － マイクロスイッチ（扉開閉信号）
・MSW2 － マイクロスイッチ（施解錠信号）
・MSW3 － マイクロスイッチ（非錠解錠信号）

美和ロック株式会社
〒105-8510　東京都港区芝3丁目1番12号

【お願い】

・錠の動作や操作が取扱説明書どおりに行われていない場合は、以下の確認を行ってください。
・以下の確認修正を頂いても正常な動作にならない場合は、最寄りの当社営業所にご連絡ください。

チェック項目

1．電気錠取付け時（電源OFF時）のチェック【建具工事】	結　果	備　考
1－1　設計仕様は錠種と合致しているか。 （a）錠種、品番は設計どおりか。		
1－2　錠種の設定および勝手が設定スイッチどおりになっているか。 （a）設定スイッチを変更した際、制御盤の電源を落してから行ったか。 （電源を落とさずに行った場合は一度制御盤の電源を落としてから、再び電源を入れた後 正常に動作するか確認。）		
1－3　扉の状態は正常か。デッドボルトが正しく突出しているか。 （a）扉のねじれ・ゆがみ等で、デッドボルトがストライクの穴にあっていないのではないか。 （b）扉の反発により、デッドボルトがストライクの穴にあっていないのではないか。 （c）錠前側の縦チリは6㎜以内か。		
1－4　ケースの取付け状態は良好か。デッドボルトがスムーズに出入りするか。 （a）フロントが扉面に正しく納まっているか。		
1－5　シリンダーの取付け状態は良好か。 （a）ＭＩＷＡマークが上になっているか。 （b）ガタつきがないか。		
1－6　ハンドル（握り玉）の取付け状態は良好か。 （a）ガタつき・ゆるみはないか。 （b）動きはスムーズか。		
1－7　非常開装置の取付け状態は良好か。 （a）ガタつき・ゆるみはないか。 （b）動きはスムーズか。		
1－8　ストライクの取付け状態は良好か。 （a）取付方向は正しいか。 （b）マグネットの位置は正しいか。 （c）デッドボルトとストライクの穴との位置は正しいか。上下、前後。		
1－9　通電金具の取付け状態は良好か。 （a）通電金具と丁番の軸心があっているか。 （b）通電金具が扉反発の原因になっていないか。		
1－10　扉内の結線は正しくされているか。 （a）電気錠と通電金具の間の結線は結線図どおりなされているか。 （b）コネクター付通電金具を使用している場合は、コネクターがしっかりはまっているか。 （c）断線はないか。		
1－11　扉を閉じた状態での電気錠の動作チェック （a）錠種の動作確認表どおりの状態（取付け時の状態）になっているか。 （b）シリンダー、サムターン、ハンドル（握り玉）、デッドの動きがスムーズか。		

2．操作盤の取付け、配線、電源をONにした時のチェック【電気工事】	結　果	備　考
2－1　操作盤の仕様が錠種と合致しているか。 （a）錠が操作盤の適用錠に含まれているか。 （b）錠種に操作盤の錠種設定を合わせてあるか。		
2－2　結線は正しくされているか。 （a）通電金具と操作盤の間の結線は、結線図どおりになされているか。 （b）コネクターを使用している場合は、コネクターがしっかりはまっているか。 （c）断線はないか。 （d）配線長さに見合う太さの線を使用しているか。（0.3㎟で90ｍまで）		
2－3　電源を投入すると電源ランプは点灯するか。		
2－4　扉を閉じると。 （a）錠種にあった動作が確実に行われるか。 （b）閉扉ランプが点灯する（又は、開扉ランプが消灯する）か。		
2－5　解錠釦を押すと。 （a）解錠ランプが点灯する（又は、施錠ランプが消灯する）か。 （b）錠種の動作確認表の解錠時の動作が確実に行われるか。 （c）扉を開けると閉扉ランプが消灯する（又は、開扉ランプが点灯する）か。		